

隊友 船橋だより

平成27年9月号

発行：千葉県隊友会 船橋支部事務局

船橋支部定期総会

船橋支部は8月29日(土)11時から習志野駐屯地隊員クラブにおいて「27年度定期総会」を開催しました。当日は、雨模様でありましたが千葉県隊友会会長河野美登氏のご臨席と35名の会員出席で1号議案から6号議案まで時間内で審議は進行し、特に6号議案船橋支部規約の制定については今後、適宜修正していくことで承認されました。



定期総会開始前の記念写真



総会後の「春の叙勲祝賀兼て懇親会」

総会後の「春の叙勲祝賀兼て懇親会」には、総会から引き続き千葉県隊友会会長河野美登氏はじめ第一空挺団長代理出席の副団長濱本博文氏、特別会員前内閣総理大臣の野田佳彦氏、県議会議員斉藤守氏、野田剛彦氏、中村実氏、船橋市議会議員鈴木ひろ子氏のご臨席を賜り39名の参加者で14時中締めが、15時45分まで延長となり近年にない盛り上がった会であった。(事務局：岡本)

8月20日富士総合火力演習見学 (写真提供：小畠)



今年で3回目となる船橋支部恒例の富士総合火力演習見学を来年高校卒業する自衛隊入隊志願者4名含む50名(20日)と、応募定員オーバーになった羽田分会長以下4名は、18日早朝、参加者の車に乗車し、天候に恵まれよかったと報告を受けた。20日は5時の出発から雲行きが悪く首都高で雨が降り出し、行く先が不安になったが10時の総火演開始時期には雨も止んで霧も少しずつ晴れ予定通りの演習見学が出来た。両日無事故にて終了できたことは、参加者の皆さんのおかげと感謝します。尚、多くの感想文が寄せられています。次回からの「船橋だより」に掲載いたします。(事務局 岡本)

「嗚呼海軍七勇士殉職の跡碑」 清掃供養奉仕

船橋支部北部地区主体の「嗚呼海軍七勇士碑を守る有志の会」は、7月12日(日)殉職碑周辺の整備を行いました。これは、平成22年度から「有志の会」と称し、立ち上げていますが会員は七勇士の年齢とほぼ同じでもあり、作業は草刈り機で繁茂の草刈りや、竹藪を刈り取り9時から開始、10時半に終了し、参加者全員が線香を供え供養した。かなりハードであり敬服しました。慰霊碑の前で車座になって懇談、河野正信小室・豊富分会長は小学生の頃、学校帰りの縦列した生徒に上空から米軍機による機銃掃射をあびたこと、築山正高根副分会長の韓国チェジュ島での体験談、戦時中の中国での日本軍の体験談など当時を偲ぶことができ有意義なひと時でありました。作業の途中、散歩の熟年のご婦人から「あれは何の石碑? 皆さん何をしているのですか」の質問に、窪洋之右高根分会長が「当時、国を守っていた人が飛行機事故で亡くなった碑ですよ。我々も同じように国を守っていたので皆で供養しているのです」と懇切丁寧に説明する一幕もありました。(副支部長: 門脇)

マイナンバー(社会保障・税番号・住民基本台帳カード) 第1回

拾七萬八千六百五拾貳 番、私の32年間馴れた番号(戦士の際の認識票番号)政府は国民一人ひとりに番号を割り振る制度を長年にわたり検討してきた。掲げる目的は時代によって取るだけでなく社会保障のお金が必要な人に。きちんと配るためにも番号制度が必要だと主張し、民主党政権は低所得の人にお金を渡す「給付付税額控除」の導入を目指しマイナンバー制度の活用を訴えた。

平成24年の自公連立政権は「給付付税額控除」を棚上げして、公明党の意向で、食料品などの税率を抑える「軽減税率」の検討に軸足を移し断念した。

納税者番号に変えてマイナンバーの導入に方針を変えた阿部政権は平成25年ごり押しの「マイナンバー法」を成立させてしまった。

マイナンバーは、もともと徴税側の論理からきていた議論で、メリットの少ない納税者側の「どうしたら納税者のためになるか」という視点からも知恵を出し、政府は思惑だけで使い道を、誤らないように目を光らせる必要があります。参照: 朝日新聞に掲載(神谷)